

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和3年3月31日

事業所名: 氷川学園児童デイサービス事業所風楽

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4			活動により、広い場所が必要な際は、他施設を確保するなど対応しています。
	2 職員配置数は適切であるか	3		1療育原則5名の利用定員に対し、スタッフ3名体制をとっています。	個別活動(マンツーマン)実施において、他のご利用児の支援が滞ることがないことと環境面での安全を確保するよう、スタッフ間の連携の強化に努めます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4		点検項目を記載した、チェック表を作成し、決めた時間に実施するようになっています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4		毎月の職員会議で、職員全体で業務改善に向けた検討を行っています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4		ホームページへの掲載とご家庭への配布をおこなっています。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	4		
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4		研修の案内があった際は、参加するようになっています。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	3		面談時にニーズに対する現状の聞き取りをしています。	
	11 子どもの適応行動の状況を計るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4		利用児の状況に応じて、随時アセスメントを行うようになっています。	事業所内で統一したアセスメントツールの精査に努めます。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	2		本人・ご家族のニーズと発達状況を把握しながらガイドラインに沿って組み合わせた支援をおこなっています。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			
15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4		利用児毎に個別課題・自立課題の事前シートを作成し、毎回同じ課題にならないようになっています。		

提供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	3			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	1	朝礼時に個別活動・グループ活動の内容をみんなで確認するようにしています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4		スタッフ全員参加し、改善点・良かった点を話し合っています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4		療育で取り組んだことをまとめて、記録し次回何をするかにつなげています。	担当ケース以外の児の把握が全スタッフで共有し、支援スキルと高めるように努めます。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4		モニタリング作成から面談実施までのスケジュールを作成し、定期的に見直しの判断ができるようにしています。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	4			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		4	該当する児がいません。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		4	該当する児がいません。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	2	2	未就園の児がいなかったため、移行支援は行っていません。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	2		要望・依頼があれば実施しています。	情報共有が出来ているところもあれば、できていないところもあります。要望により入学前の情報共有を行ないます。主に、入学後の担当者会議で情報共有と相互理解を図ったりします。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	3	当所では、機会を設けていませんが、全児就園済です。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	3	1	圏域内の事業所で持ち回りで担当し参加しています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4		送迎児・面談時に直接もしくは、連絡ノートを使い共有を行っています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	2	2		所内の保護者交流会の一環で、実施しているように検討していきます。
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4		報酬改定等の際は、随時お知らせしています。		

保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	4			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4		保護者から相談があったら、その日に返事ができたら返事し、後日返事をすることもあります。スタッフ間での意見も聞いて返事をすることもあります。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	2	今年度は、ほとんど開催していないが、オープン風楽、交流会を開いています。(今年度はコロナの為実施できず)	開催できない際は、代替案を検討するように今後努めます。
	36	子どもや保護者からの苦情について、対応の体勢を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	2	2	行事ごとにお知らせを出しています。定期(毎月)の会報は、現在停止しています。	次年度中に再開できるように努めます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	4		個人情報、所外への持ち出し厳禁とし、メモ等にもご利用児の名前は、イニシャル等にて記入するようにしています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4		できるだけ連絡ノートに詳しく記載し、文章での表現が難しい場合は、電話で伝え、記録を残すようにしています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	3	法人内事業所合同での行事を実施しています。(今年度は、中止)	
非常時などの対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4			マニュアルの周知を事業説明時や事業計画書にて周知を行っているが、充分ではないため、事業所玄関内に閲覧できるように設置していくように努めます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			実施したが、利用日を問わずに訓練が出来られない方がいたため、利用予定を確認し、全ご利用児が訓練できるように努めます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	4		事前の確認と変更時、速やかに情報提供をいただくように利用日を通じてやり取りをさせていただいています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	2	食事を提供する活動がなく、医師の指示書は得ていないが、食物アレルギーのある子どもについて保護者からの情報提供に基づき対応しています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4		ヒヤリハットで報告する場面があったら、その都度報告し月一回検証・改善を行っています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4		年一回の虐待防止に対する研修の実施と定期的セルフチェックを行っています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		4	身体拘束の必要性が想定される児がいません。	

|